

#### 事例4 「天井に設置された非常灯付近までダンボールを積み上げたため出火した火災」

##### 概要

この火災は、百貨店等のバックヤードの物置から出火したものです。

出火原因は、天井まで積み上げられたダンボールに、設備の点検業者が非常灯用ハロゲンランプを点検のため点灯したことにより、近接していた段ボールが出火したものです。

防災センター勤務員2人が、自動火災報知設備が発報したため受信盤の表示階に確認に向かうと、物置から煙が出ているのを発見し、粉末消火器を使用して消火しました。

通報は、防災センターで待機していた勤務員が、無線連絡を受けて119番通報しました。

従業員が、店舗内の設備等をよく理解せずに、ダンボールを積み上げたために発生しています。天井近くまで物品を積み上げると、非常灯点灯時に放射熱による出火火災だけでなく、スプリンクラーの散水障害になる可能性もあり、天井付近まで積み上げる段ボール等の商品は「危険である」との認識が求められます。

##### 写真4

ダンボールの焼損状況



非常灯により近接した段ボールが出火した状況

出火した物置内の状況



物置の商品の積み上げ。天井のスプリンクラーヘッドの散水障害となっている。